

そよかぜ

2015年1月 Vol.17

冬号

病院の理念

私たちは
「ゆるぎない信頼、心からの満足」
をしていただける病院を目指します。
人としての尊厳を重視した上で専門医療（国
の定める政策医療）に誇りを持ち、地域の
皆様が安心して心身ともに癒される医療を
受けていただけるよう全力を尽くします。

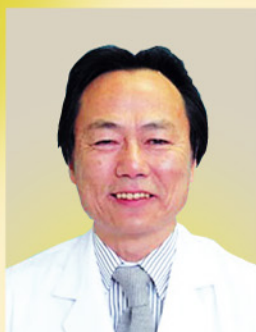
CONTENTS

院長 年頭所感2
平成26年度院内発表会開催3
新外来管理棟が完成しました4・5
職場紹介(2階東・西病棟)6・7
売店、食堂がオープンしました8
病診連携室が立ち上がりました9
結核診療連携拠点病院研修会9
聖歌隊がやって来ました10
神社祭について10



池田動物園のヒツジ まゆりちゃんです。

年頭所感



国立病院機構 南岡山医療センター
院長 宗田 良

新年、あけましておめでとうございます。

早島の王山の頂に開設して70年、この度3度目のリニューアルが終了致しました。

昭和13年に開設した当初は、結核療養所として出発し800名を越す患者さんがいたと聞いています。時代が進み、昭和40年頃には結核医療の進歩もあって結核病床は縮小しながら、重症心身障害児者や神経難病等、障害を抱えながら生きてゆく人達を支えるための病床機能を加えました。

さらに一般医療の充実をはかり、療養所から病院へと名称を変更しました。病院全体が木造から鉄筋コンクリートの建築に変わってゆきました。病院としての機能を充実する為、従来の呼吸器、血液、神経難病、重心に加え、リウマチ、アレルギーの診療機能の充実をはかって、他の医療機関との差別化をはかりました。

そしてこの度、新外来管理棟、新サービス棟が完成し3度目のリニューアルです。新外来管理棟は、これまでと比べ、明るく広く、また、機能的なものとなっていますが、昨年中央病棟に続きこの度の新外来棟完成により、よりよい医療が提供できる環境が整いました。

これからも南岡山医療センターは、「支える医療」を大切にしてくださいと思っています。障害や病気をもちながら生きてゆく人達のお役にたてる病院になりたいと思います。

また、本年はNHOグループがさらに変化してゆく年となります。公務員型の独法から非公務員型の独法へと変わります。より運営の自由度は高まりますが、より自分の足で立ってゆく責任も重くなるものと考えております。皆様方と共に自律した運営のできる発展してゆく病院をつくりあげたいと思います。

どうかこれからも宜しくお願い致します。



平成26年度院内発表会開催

昨年度から企画しました院内発表会を今年度は平成26年12月11日に中央病棟・花明かりホールで開催しました。当院で最近行われた臨床研究のうち、特に優れた研究で論文化されているものを院長賞として、また現在研究中で学会発表等行われているものを奨励賞として選出し、その受賞を記念した講演会となりました。

前半の4題（奨励賞）のうち、2題（研究代表者、木村古都および片岡靖雄）は昨年11月の第68回国立病院総合医学会で各々ベストポスター賞、ベスト口演賞に選ばれた研究でした。残り2題（研究代表者、森川竜也および藤本みどり）については多数例での検討や患者を中心としたチーム医療に関する素晴らしい研究成果を発表していただきました。後半の院長賞3題（研究代表者、井上美智子、大森伍未、岩井江利花）はいずれも専門領域における診療・看護の問題点を浮き彫りにし、その対策を検討・実践した発表で、活発な討論が行われました。

参加人数は72名で医師、看護師、理学療法士をはじめとして多職種の方々に出席していただき、昨年度以上の盛会となりました。参加者のアンケート調査でも概ね好評で、院内で行われているチーム医療を含む様々な部門における研究活動を知り、また研究意欲を高める良い機会になったものと思います。ただし、立ち見が出るなど会場が少し狭かったようです。来年度は開催場所を見直してさらに多数の参加が得られるようにしたいと考えております。

臨床研究部は、当院の臨床研究がハード面のみならずソフト面でも充実し、さらに飛躍できるように、職員の研究シーズを発掘し、成果に結び付けるサポートを十分に行っていくたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

臨床研究部長 谷本 安



平成26年度 院内発表会

— 臨床研究 院長賞 奨励賞 受賞記念講演会 —

日時 平成26年12月11日（木）17時30分～18時45分

会場 中央病棟・花明かりホール

17:30～ 開会の辞 宗田 良 院長

17:35～ 座長：宮本敏子 外来看護師長

1. 人工呼吸器装着中のALS患者を継続して在宅介護している家族介護者の思いについて
○木村古都、松田真理子、山下沙紀、岡 有起、大部美保子
2. 院内DOTSから地域DOTSに向けた当院の取り組みについて
—院内DOTSパスから服薬支援手帳へ—
○藤本みどり、河田典子、宗田 良
3. 非結核性抗酸菌症のリハビリテーションにおける一考察
○森川竜也、丸山康徳、河田典子
4. 高次脳機能障害を呈した患者への呼吸リハビリテーション
—失語症と失行症を合併した間質性肺炎患者1症例を通して—
○片岡靖雄、曾根弘喜、丸山康徳、出羽裕太郎、濱田 昇、河田典子

18:10～ 座長：坂井研一 第三診療部長

5. 小児科病棟から重症心身障害児・者病棟に転院した小児の臨床像と転帰
○井上美智子
6. 認知症高齢者に行った日中のトイレ誘導の効果
実施前後の排泄・ADL・感情の変化を比較して
大森（現 山本）伍未、関場尚美、○村松百合香、大島瑞穂、山内紀代美
7. 慢性呼吸不全患者の終末期看護を考える
デスクカンファレンスを通して看護を振り返る
岩井（現 黒崎）江利花、○村上 歩、高橋希世野、溝内育子、原 節子

18:35～ 表彰式・閉会の辞 宗田 良 院長

新外来管理棟が完成しました!



平成27年1月13日新外来管理棟がオープンしました。旧外来管理棟は築後40年が経過し雨漏りや設備等の老朽化が著しく、また各診察室等も狭隘でご不便をおかけしました。

新外来管理棟は、診療機能に適応した整備と治療部門の充実強化、QOL向上に重点をおき、さらに分散した建物についても集約化を図り、患者様の動線に配慮した設計となっております。

現在、古い建物の解体及び外構工事をしており仮玄関や駐車場等がわかりにくくなっております。病院に来られる際は左の案内図を参照ください。

すべての工事は5月に終了し、6月にはグランドオープンとなります。

当分の間ご迷惑をおかけしますがよろしく申し上げます。

企画課長 山崎 哲也

2F

リハビリテーション室、検体検査室、細菌検査室、心理療法室、臨床研究部、ICT室、スキルアップラボ室、図書室、食堂



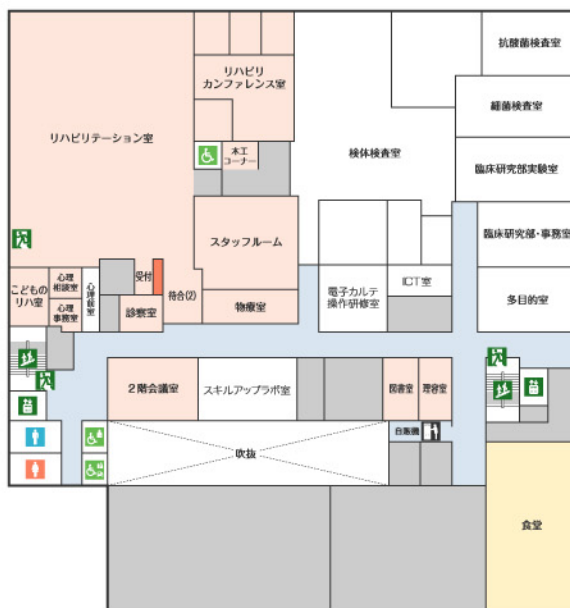
リハビリテーション室



スキルアップラボ室



心理療法室



臨床検査室



図書室



食堂

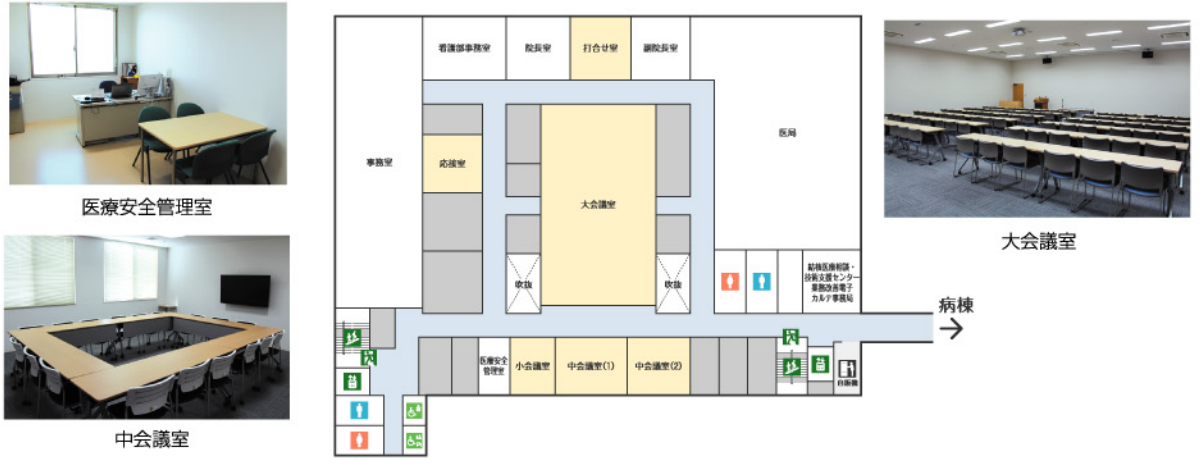
1F

外来診察室、救急診察室、感染症診察室、病診連携室、薬剤科、治験管理室、生理検査室、医事室、時間外受付事務室、売店

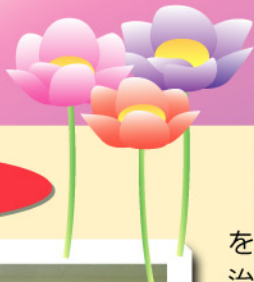


3F

大会議室、中会議室、医局、医療安全管理室、事務室、結核医療相談・技術支援センター業務改善電子カルテ事務局



2階東・西病棟



2階東病棟看護師長 大部 美保子
2階西病棟看護師長 津曲 悦美

2階東病棟



2階東・西病棟は、神経筋難病の病棟です。障がい者総合支援法における療養介護病床38床を含む、各50床ずつの病棟で、一般入院（検査・治療・リハビリ）やショートステイに限らず、病院を『終の棲家』とされる長期入院の方も受け入れています。

平成25年7月に新病棟に移転し、2階東西病棟が神経筋難病病棟となり、同じ機能を果たす病棟が同じフロアになったことで、協体制度が強化でき、病床の運営や療養介護病床のケアの統一化など質の高い看護・介護をより提供しやすくなりました。今年の1月には日本難病看護学会認定・難病看護師が東西病棟各1名誕生し、神経筋難病の看護の質を高めるとともに教育にも力を入れています。

神経筋難病は明確な治療法がない進行性の疾患であり、症状も経過も様々です。その経過の中で、患者様一人ひとりが最後までその人らしく生きることを大切に、看護師・療養介護専門員・療養介護員・看護助手の看護スタッフが丸となり、また、医師・OT・PT・ST・MSW等多職種とも連携をとりながら患者様や患者様を支えておられるご家族の思いに添った支援に努めています。

人工呼吸器装着患者様が60%以上を占めており、人工呼吸器の管理には慎重さを要しますが、身体の清潔も心地よさを感じていただける大切な援助と考え、エレベートバスでの入浴など、患者様の安全を第一に考えて行っています。



2階西病棟



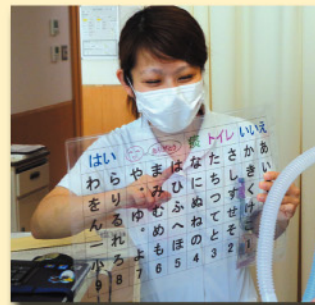
病気が進行していく中、今まで当たり前でできていたことができなくなるというとても不安に涙を流されたり、「生きていても仕方がない。」と訴えられることがあります。そんな辛い思いを支えることはもちろん、日々変わらない生活が送れるよう支援させていただいています。

残存機能を最大限に生かし、「自分がしたい」と思うことが少しでもできるように、そして「自分でできる」という希望を持てるように、コミュニケーションでは、口唇の動き・瞬き・文字盤・伝の心など可能な手段を選択し、「伝えたい」という気持ちを尊重できるよう一瞬一瞬を大切に関わっています。身の回りのことができなくなった時や意志を伝えられなくなった時、その人らしさを尊重できるよう患者様の好む体位や好きな音楽・趣味やこだわりなど、ご家族と一緒に一人ひとりの生活史を大切に看護実践しています。

また、日常のほとんどをベッド上で過ごす生活となり変化の少ない環境ですが、楽しみの一つになればという思いで季節の行事に取り組んでいます。

「楽しかった。」「病気のことを忘れることができた。」という言葉が聞かれ、ご家族とともに過ごす大切な時間となっています。

少しでも患者様・ご家族の思いに添えるよう、「ここに入院してよかった。」と思っていただけるよう努力していきたいと頑張っています。



売店、食堂がオープンしました



1月13日（火）より新外来棟開棟とともに、1階に『売店 天満屋ショップ』が、2階に『食堂 ひまわり』がオープンいたしました。

売店 天満屋ショップ 大石 純子

売店では、百貨店で培ったおもてなしの精神をもって、安心して院内を過ごしていただけるように取り組んでまいります。

営業時間は、平日が8時～19時まで、土日祝が8時～17時まで営業しております。

品揃えと窓口サービスでは、コンビニならではの、天満屋ならではの、病院ならではの3つの要素を充実しております。

コンビニならではのとして、全国金融機関のキャッシュカードが対応となるコンビニATMや公共料金収納代行、電子マネーやクレジットカードでのお支払い、宅配サービスなどのコンビニエンスサービスを全て実施しております。

天満屋ならではのとして、百貨店商品を販売しております。雑貨・婦人衣料・リビング雑貨・全国銘菓などがあり、特に神戸モロゾフの洋菓子は人気商品でございます。

病院ならではのとして、医療衛生商品も充実しております。また、患者様からご注文いただいた介護医療用品・日用品を、毎日病室までお届けする院内デリバリーサービスを実施しております。

今後は、患者様・職員様のニーズを伺いながら、便利で楽しい売店となりますよう、スタッフ全員で努力してまいります。ご来店を心よりお待ちしております。



売店
天満屋
ショップ



食堂 エssen 苅田 竜樹

食堂では、全ての患者様・お客様に『温かい思いやり』の気持ちを持ち、喜んでいただけるよう、気持ちの良い雰囲気・空間の提供をすることを大切に取り組んでまいりますので、お気軽にご利用ください。

営業時間は、平日は8時～15時まで、土日祝は11時～15時まで営業しております。朝はモーニングサービスとしまして、和食（ご飯、焼き魚、味噌汁、玉子）と洋食（パン、サラダ、お飲み物）の2種類を420円で提供しております。

また11時からは、日替わり定食を2種類（限定数量）550円で提供しております。定番のメニューとしましては、定食類を3種、丼を2種、パスタ2種、ラーメン、うどんを提供しております。ご飯の大盛りは無料で提供しておりますので、当店スタッフまでお申し付けください。

今後は季節毎、定期的なメニューの更新をしておりますので、お楽しみください。

また食事だけではなく1杯220円で、淹れたてコーヒーの販売もしております。コーヒーの持ち帰りもできるようにしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

今後、当店が憩いの場となるよう努力してまいります。店長、スタッフ一同、心よりお待ちしております。



食堂
ひまわり



病診連携室が立ち上がりました

1月13日から外来管理棟が新しくなったことに合わせて、地域医療連携室の業務の一つである受診及び検査等の予約業務、逆紹介業務、紹介患者の情報整理など、より一層地域の医療機関等との連携や院内での逆紹介などスムーズに地域医療連携を行っていくことを目的に新しく2名の事務員が加わり、外来管理棟1階に病診連携室が立ち上がりました。

本年も先生方とは、受診、検査の予約をお受けしたり、逆紹介の調整等でお世話になります。丁寧で迅速な対応を心掛けていますが、ご要望等がございましたらご遠慮なくご意見を伺えたらと思います。

地域医療連携室長 川端 宏輝



平成26年度

結核診療連携拠点病院研修会

(岡山県結核対策研修会)

～院内DOTSを含めたDOTSの推進と結核医療連携体制の推進について～

日時 平成27年3月12日(木) 18:30～20:30

会場 ホテルグランヴィア岡山 4Fフェニックス(定員200名)
岡山市北区駅元町1-5 TEL.086-234-7000

主催 国立病院機構 南岡山医療センター
岡山県健康づくり財団附属病院
岡山県

対象 医療機関(医師・看護師・薬剤師等の医療関係者)等

●研修Ⅰ 18:40～19:10

「一般医療機関におけるDOTSへの取組」

座長:岡山県健康づくり財団附属病院院長 西井 研治

倉敷中央病院薬剤部薬剤師 佐藤 可奈

「結核患者への院内DOTSと結核医療相談技術支援センターの活用について」

国立病院機構南岡山医療センター呼吸器・アレルギー内科医長 河田 典子

●研修Ⅱ 19:10～20:10

「最近の結核診断治療とこれからの結核対策のあり方」

座長:国立病院機構南岡山医療センター院長 宗田 良

公益財団法人結核予防会結核研究所副所長 加藤 誠也

※申し込み・問い合わせは、2月27日(金)までに地域医療連携室086-482-3031にご連絡ください。

聖歌隊がやって来ました



12月17日に岡山医療センター附属岡山看護助産学校の学生の皆さんが聖歌隊として当院を訪問してくださいました。

クリスマスソングとクリスマスカードのプレゼントにたくさんの患者様の笑顔が見られました。素敵なひとときをありがとうございました。

地域医療連携室長 川端 宏輝



神社祭について

12月19日、院内にある王山神社と龍王宮にて鶴崎神社(早島町)宮司 太田様のご祈禱により神社祭を執り行いました。王山神社は、鶴崎神社の氏子区域の中にあります。

王山神社は、国立療養所南岡山病院時代、院内の安全を願って神社を造営されたと聞いております。また、龍王宮は雨を司る神で、以前龍王宮の北側に池がありました。山上にあった病院は当時水の確保に苦勞されたそうで、それが故に貴重な水を大切に、池の水が枯れないように守っていただくために龍王宮を祀ったと言われています。

当日は底冷えのする中幹部職員が列席され、病院の安全祈願、患者様の病状回復、職員の無病息災、水の安定確保等を祈っていただきました。王山神社は王山荘の裏側に、また、龍王宮は院内保育所前に造営されています。

管理課長 栗元 寛幸



編集後記

新外来管理棟がオープンして、患者様やご家族の方々から「綺麗になったね」ととても喜んでおられます。これを機に地域の医療機関の先生方には「当院に紹介してよかった」と言われる病院を目指して頑張っていきたいと思っております。また、当院の存在を知っていただけるよう広報委員の立場から各方面へ情報発信しようと思っております。

外構工事が終わる5月までは駐車場の問題、解体工事に伴う騒音等ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

編集委員 Y



独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話 (086) 482-1121 (代表)
F A X (086) 482-3883
<http://www.sokayama.jp/>

